

会報

# 青少年 だいせん

第 9 号

平成23年4月1日

発行者  
青少年育成大仙市民会議

事務局  
大仙市大曲花園町1番1号  
大仙市役所消防安全課内  
TEL 0187-63-1111

## 全国童謡歌唱コンクール金賞を 受賞した「茂木ファミリー」の発表

連日の寒波と豪雪であったが、幸いにして、寒気が緩みほつとした二月五日午前十時から、第三十八回を迎えた「大仙市大曲青少年健全育成推進集会」が大仙市民会議小ホールにおいて開催されました。

主催は大仙市大曲青少年育成連絡協議会（青少年育成大仙市民会議大曲地域会議、大仙地区少年保護育成委員会大曲支部、大仙市子ども育成連合会大曲支部、大曲地区PTA連合会、明るい社会づくり運動県南ブロック協議会、大曲地区保護司会、大曲地区更生保護女性会、大仙市社会福祉協議会、大仙市スポーツ少年団大曲支部の九団体で構成）で、青少年健全育成は地域のネットワーク活動の強化が重要との趣旨で様々な事業を推進し、成果を挙げてきています。

また、この流れを大仙市全体に広げ、大仙市の良質な青少年健全育成環境づくりを、と期待されています。

当日は、大曲中学校野球部、大曲工業高等学校野球部の除雪ボランティア活動表彰、全国童謡歌唱コンクール金賞受賞・茂木ファミリーの発表、基調講演（宮本延春氏）があり、中高校生、一般市民二百五十名が聴講しました。

（詳細は次ページ）

# 「有難う」と感謝の気持ちを大切に

## 九九が出来なかつた中学生が 三十六歳で高校の数学教師に!!



宮本延春先生 講演要旨

私は、一歳の時に養子として育ての両親に預けられ、十六歳で養母を、十八歳で養父を亡くし、相談する親戚も知らず、全く希望のない天涯孤独の身で世間の荒波に放り出された。

小中学校時代は転校の繰り返し、精神的に肉体的に醜い「いじめ」に遭い、リストカットも経験した。中学時代の学力は、漢字は名前のみ、英語はB O O Kしか書けず、数学は九九も出来ず、成績表は音楽美術が2で他はオール1の駄目生徒であった。

中学卒業後、フリーターを経て、地元の建築会社へ就職した。ここ

で一生懸命に働き、社長から建築関係の資格を取得するよう薦められたが、分数の意味も分らず途方に暮れた。その時、いじめの自己防衛から始めた「少林寺拳法」の道場で妻と出会い、渡されたNHKスペシャル「アインシュタイン・ロマン」のビデオに感銘を受け、物理学を学びたいと二十三歳の時に大学受験を決意した。

勉強は小学校の算数ドリルから始め、二十四歳のときに豊川高校定時制に入学することができ、物理学を学ぶ為に「名古屋大学」を第一希望として目標を決めた。しかし、学校のどの先生に相談しても学力の状態から相手にされなかつたが、あまりにも何回も熱心に相談するうちに、先生も夜十二時近くまで勉強を指導してくれた。その後、名古屋大学理学部物理学科、同大学院理学研究科に進学、素粒子宇宙物理学を専攻して研究に没頭し、三十六歳のときに、母校の私立豊川高校、数学の教諭に採用された。

私の体験から、いじめの要因の

一つに「差別意識」があり、小さいいじめが始まると「いじめゲーム」へと発展する。そして、子どもは親に学校のことを話さなくなるなど、必ずSOSを発信する。そのSOSに対して、家庭では子どもの辛い状況を察知する細心さ、先生との細やかな連携が必要である。また、子どものやる気が大切だが、それを喚起するには子どもと真剣に向き合い、何か一つでも優れている事を認め、褒めることが大切である。子ども自身にとって価値のある夢であれば見つけただけでも素晴らしいし、その目標に向かって努力することこそが尊いのである。

聴講の中高校生へ、学力は正しい学び方をすれば誰でも伸びる。極端に例えれば野球を上達したいのに音楽の勉強をしても野球は上達しない。生きている中で「いやな事、つらい事」があってもそれは成長過程の痛みであり、人はその逆境を乗り越えて成長する。さらに人との関係では感謝の気持ちを大切にし、一日に五回「有難う」を見つけ声に出す。探しても無いときには自販機に向かってそれを設置した人に感謝して「ジュースをありがとう」と言うくらいの気持ちで前向きに生きてほしい。

## 大曲中学校野球部・大曲工業高等学校野球部を表彰

除雪ボランティア「大仙雪まる隊」でのボランティア活動を認め、大曲中学校野球部・大曲工業高等学校野球部を表彰しました。



# 大仙市協和在住の親子

## 「茂木ファミリー」が発表

Ⅱ全国童謡歌唱コンクールファミリー部門金賞受賞Ⅱ

協和船岡の茂木美竹(みさお)

さん(37)と双子の娘、風歌さん

(協和小六年)と優希さん(同)

は昨年十一月、東京で行われた

全国童謡歌唱コンクール・ファ

ミリー部門で金賞を受賞しまし

た。その時に歌った「誰かが星

をみていた」を今回、(表紙)

大曲市民会館小ホールで発表し

てくれました。

携帯電話の普及、家庭内の個

室化、個食の広がりなどから、

家族間の会話が減り、関係が希

薄になっていくことが青少年の

育成に心配されています。

秋田県、大仙市では、青少年

健全育成活動の柱の一つとし

て、「家族のふれあい運動」を

推進してありますが、「茂木ファ

ミリー」の今回の成果はこの面

から見てもすばらしい快挙で、

是非、市民の方々にも聴いても

らいたい、との要望を受け入れ

て頂き、実現したものです。

現在「茂木ファミリー」はファ

ミリーボーカルユニット「美風

優」という名前で地元や秋田市

で活動しています。

発表の「誰かが星を見ていた」

は、南極や日本で見える同じ流

れ星の風景を通して世界のつな

がりを表現した曲で、高音の美

しいバランスの取れた合唱に聴

衆一同は感動して聴き入ってい

ました。

合わせて、茂木美竹(みさお)

さん創作の組曲「木の夢」を親

子が交互にピアノを弾きながら

美しい歌のメロディーと物語を

展開し、聴衆の喝采を浴びてい

ました。



# 第十二回親子ペア非行防止。

## 健全育成標語コンクール

去る二月二十二日(火)「たつみ」に

於いて、主催・大仙地区少年保護育成

委員会、大曲青少年健全育成実践委員

会、大仙警察署少年サポートセンター、

協賛・青少年育成大仙市民会議、大仙

地区防犯協会連合会が「親子の絆を大

切に」との趣旨で募集した「親子ペア

非行防止・健全育成標語」の作品発表

と表彰式、研修会を行いました。

応募総数千五百余の中、入選二十四

ペアのうち、優秀賞は次のとおりです。

### ●小学校低学年の部優秀賞

神宮寺小学校一年 菊地 まゆか

一人より みんなで食べると おいしいよ

保護者 菊地 さゆり

おいしい食事 会話のふりかけ かくし味

### ●小学校高学年の部優秀賞

刈和野小学校五年 阿部 嵩史

気をつけて ネットのむこうで ねらっている

保護者 阿部 直哉

そのケイタイ ほんとうにひつよう 考えて

### ●中学生の部優秀賞

西仙北西中学校二年 佐藤 悠貴

「わりごとすなよ」それが母の 言葉です

保護者 佐藤 良子

信じてる 心の奥の 正義感



# かい 蝦夷ほたるで遊ぼう

この冬まつりは、平安時代の初めに建てられた  
 ほんたのさく ほんたのさく  
 弘田柵に、蝦夷の人たちや役人・兵士・農民等  
 への思いを今の人たちに伝え、甦らせるために、  
 かい  
 蝦夷ほたると呼ばれるミニかまくらにローソクを  
 ともして表現したものです。

まず、仙北スキー場を会場に開催された子ども  
 スキー大会で幕を開きました。午後からは弘田柵  
 へ移動し、幼稚園児や保育園児・小学生によるけっ  
 ちすべり大会を行い、そして、ほんたのさく  
 弘田柵跡南門前で  
 かい  
 蝦夷ほたる作りをしました。高梨小学校五、六年  
 生は、今年度、ほんたのさく  
 弘田柵を学習していることもあつ

て全員が参加し、さらに小さい子どもや小学生、  
 保護者等が参加しました。なかには秋田市から来  
 たという親子づれの方もいました。ミニかまくら  
 が出来上がった後、ついたばかりの餅を食べ、四  
 時頃になると、かい  
 蝦夷ほたるに明かりが灯され、あ  
 たり一面が幻想的な雰囲気になり、六時頃には、  
 たくさんの方々が、かい  
 蝦夷ほたるを見に来たり、カ  
 メラマンが写真に収めようとファインダーをのぞ  
 く姿が見られました。

子どもを中心に親の参加を得ながらの冬まつり  
 でしたが、子ども達はとっても喜んでいました。



## 大仙市民会議の役員一覧

会 長	太 田 欣次郎 (大曲地域会議会長)	理 事	伊 藤 茂 昭 (仙北地域会議会長)
副 会 長	伊 藤 徳 平 (西仙北地域会議会長)	理 事	高 貝 昇太郎 (中仙地域会議会長)
副 会 長	鈴 木 一 男 (太田地域会議会長)	監 事	進 藤 高 夫 (協和地域会議副会長)
理 事	佐々木 康 浩 (神岡地域会議会長)	監 事	竹 村 文 雄 (仙北地域会議副会長)
理 事	進 藤 専 一 (協和地域会議会長)	事務局長	長 山 輝 雄 (大曲地域会議)
理 事	伊 藤 忠 志 (南外地域会議会長)		